

令和6年度超音波検査実技研修会を開催しました ～令和6年度新牛繁殖技術普及強化事業に係る広域技術者研修会～

令和6年11月19日
独立行政法人 家畜改良センター宮崎牧場

令和6年11月15日に独立行政法人家畜改良センター宮崎牧場において、令和6年度超音波検査実技研修会を一般社団法人日本家畜人工授精師協会と宮崎牧場が共催しました。

講師に国立大学法人宮崎大学農学部獣医学科の北原豪先生をお招きし、午前中は講義、午後は実習を行いました。講義では、「家畜人工授精師のための超音波検査 -牛の適期授精と繁殖成績向上のために-」と題し、家畜人工授精に係る実践的な基礎知識、家畜人工授精師の超音波検査技術利用ガイドラインを踏まえた超音波検査の活用法等について、動画も用いて判り易く説明いただきました。実技では、発情期、黄体期及び妊娠期といった繁殖ステージの異なる繁殖雌牛を用いて、ステージ別の腔検査や超音波検査装置による子宮及び卵巣の検査方法について説明いただきました。

今回協賛いただいた株式会社フロンティアインターナショナル、富士平工業株式会社から最新の携帯型超音波画像診断装置を貸与いただき、受講者は先端器材を体験することができました。受講者からは、「初めて見る映像で興味深かった。座学も実習も充実した内容だった。実習時間もたくさんあり何回も練習できた。家畜人工授精技術についても見直すことができた。」等の好評価をいただきました。

今回の研修会で学んだことを活かし、地域の繁殖管理技術の向上や畜産経営の安定に貢献していくだけることを期待しております。



写真1：講義



写真2：実習における説明

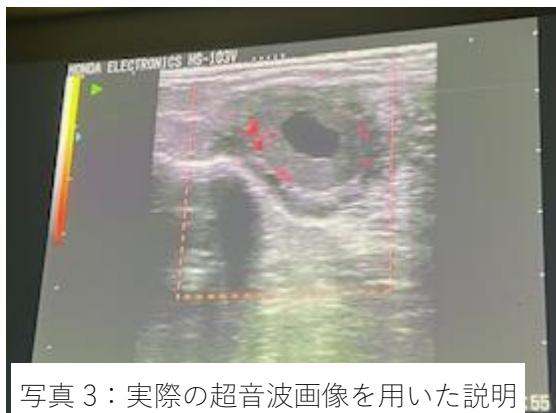


写真3：実際の超音波画像を用いた説明



写真4：実習風景